

3. メッセージ機能の規定

本章は、各メッセージの機能定義及び情報内容（すなわち、意味）に着目し、J T-Q 9 3 1メッセージ構成の概要を述べます。

各規定では以下の項目を含みます。

(1) メッセージの転送方向と使用法の簡潔な記述、及び定義区間。

- ① ローカル定義区間 : 発信側または着信側のいずれか一方のアクセスにのみ関連
- ② アクセス定義区間 : 発信側・着信側アクセスに関連するが、網内は関連しない
- ③ デュアル定義区間 : 発信側または着信側のいずれか一方のアクセス及び網内に関連
- ④ グローバル定義区間 : 発信側・着信側アクセスに関連し、かつ網内に関連

(2) メッセージ内に現れる順にコード群“0”情報要素を示した表（全てのメッセージ種別に共通な相対的順序）。各々の情報要素に対して、表は以下のものを示しています。

- ① 情報要素を規定している本仕様の項番
- ② 情報要素が送信されうる方向
例：ユーザから網（ $u \rightarrow n$ ）、網からユーザ（ $n \rightarrow u$ ）もしくは両方向（注1）。
- ③ 必須（M）もしくはオプション（O）
オプションの情報要素については、情報要素が含まれる環境を（注2）で示します。
- ④ 情報長欄の‘*’は、情報要素の最大オクテット長を規定せず、網またはサービスに依存し得ることを示します。

(注1) 本セクションの「ユーザ・網」という用語では、T E-交換機、N T 2-交換機インタフェース構造を表しています。

(注2) 全ての各メッセージは、他コード群5, 6, 7の情報要素と4.5.2~4.5.4節で記述されたコーディングルールに従った“固定シフト”情報要素、を含む場合があります。これらも3章内の表に含めています。

現在含まれていないものも、今後追加される場合があります。

(3) 必要に応じた詳細な注釈。

3.1 回線交換モード接続制御のためのメッセージ

表3.1に回線交換モード接続制御のためのメッセージを示します。

表3.1 回線交換モード接続制御のためのメッセージ

<u>呼設定用メッセージ</u>	<u>参 照</u>
呼出 [ALERTING]	3.1.1
呼設定受付 [CALL PROCEEDING]	3.1.2
応答 [CONNECT]	3.1.3
応答確認 [CONNECT ACKNOWLEDGE]	3.1.4
経過表示 [PROGRESS]	3.1.8
呼設定 [SETUP]	3.1.14
呼設定確認 [SETUP ACKNOWLEDGE]	3.1.15
(注) 本メッセージはTTC非標準のため提供しません。	
未提供	
<u>通信中メッセージ</u>	
再開 [RESUME]	3.1.11
再開確認 [RESUME ACKNOWLEDGE]	3.1.12
再開拒否 [RESUME REJECT]	3.1.13
中断 [SUSPEND]	3.1.18
中断確認 [SUSPEND ACKNOWLEDGE]	3.1.19
中断拒否 [SUSPEND REJECT]	3.1.20
<u>呼切断復旧用メッセージ</u>	
切断 [DISCONNECT]	3.1.5
解放 [RELEASE]	3.1.9
解放完了 [RELEASE COMPLETE]	3.1.10
<u>その他のメッセージ</u>	
付加情報 [INFORMATION]	3.1.6
通知 [NOTIFY]	3.1.7
状態表示 [STATUS]	3.1.16
状態問合せ [STATUS ENQUIRY]	3.1.17

(注) TTC標準JT-Q931(第5版)ではユーザ間双方の合意に基づく付加的な整合性確認のため、または他のTTC標準、及びITU-T勧告(例えば、ITU-T勧告X.213)に基づく提供のためユーザ・ユーザ信号の提供を記述していました。この機能の利用については、“ユーザ・ユーザ”情報要素が「呼出」、「応答」、「切断」、「解放」、「解放完了」、「呼設定」の各メッセージに含まれます。この機能(明白な及び暗黙のサービス1ユーザ・ユーザ信号)の詳細は付加サービス編を参照して下さい。

また、付加サービスのための情報要素についても付加サービス編を参照して下さい。

3.1.1 呼出 [ALERTING]

本メッセージは着信ユーザが、呼出が開始されたことを表示するために、着信ユーザから網に転送されます。そして、網から発信ユーザに着信ユーザが呼出を開始したことを通知するため転送されます（表3.2）。

表3.2 呼出メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼出
 定義区間 : グローバル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	O (注1)	4-12	未提供
チャンネル識別子	4.5.13	両方向 (注2)	O (注3)	2-*	n→uは 未提供
経過識別子	4.5.23	両方向	O (注4)	2-4	
表示	4.5.16	n→u	O (注5)	(注6)	
シグナル	4.5.28	n→u	O (注7)	2-3	
高位レイヤ整合性	4.5.17	両方向	O (注8)	2-4	未提供

未提供

(注1) 伝達能力情報要素は5.1.1節の伝達能力選択手順の場合に含まれます。含まれる場合は、“経過識別子 (#5: インタワーキングが発生し、その結果テレコミュニケーションサービスが変更された)” 情報要素も含まれます。

未提供

(注2) 網からユーザの方向について、付録1.1の手順をサポートするために含まれます。

(注3) 「呼設定」メッセージの最初の応答で、「呼設定」メッセージで表示された情報チャンネルをユーザが受け付けられない場合は、この情報要素は必須となります。

(注4) 相互接続の場合、本メッセージに含まれます。網からユーザの方向でインバンド情報/パターンを提供する場合、本メッセージに含まれます。

未提供

ユーザから網の方向で、インバンド情報/パターンを提供する場合、本メッセージに含まれます。

ユーザから網の方向で、5.1.1.3節及び5.1.2.3節の手順に従う場合、本メッセージに含まれます。

(注5) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注6) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注7) トーンもしくは呼出シグナルを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

未提供

(注8) “高位レイヤ整合性” 情報要素は、5.1.2節の高位レイヤ整合性選択手順の場合に含まれます。含まれる場合は“経過識別子 (#5: インタワーキングが発生し、その結果テレコミュニケーションサービスが変更された)” 情報要素も含まれます。

“表示”、“シグナル”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

付加サービスにより“フィーチャインディケーション”、“ユーザ・ユーザ”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照してください。

3.1.2 呼設定受付 [CALL PROCEEDING]

本メッセージは、要求された呼設定が開始されたことを表示するため、着信ユーザから網に、または、網から発信ユーザに転送され、これ以上の呼設定情報は受付られないことを示すものです（表3.3）

表3.3 呼設定受付メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定受付
 定義区間 : ローカル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	O(注5)	4-12	未提供
チャンネル識別子	4.5.1.3	両方向	O(注1)	2*	
経過識別子	4.5.2.3	両方向	O(注2)	2-4	
表示	4.5.1.6	n→u	O(注3)	(注4)	
高位レイヤ整合性	4.5.1.7	両方向	O(注6)	2-4	未提供

(注1) 網からユーザへ「呼設定」メッセージに対する最初の応答の場合、本情報要素は必須となります。

ユーザから網へ「呼設定」メッセージに対する最初の応答で「呼設定」メッセージで表示され情報チャンネルをユーザが受け付けない場合、この情報要素は必須となります。

(注2) 相互接続の場合、本メッセージに含まれます。網からユーザの方向でインバンド情報/パターンを提供する場合、本メッセージに含まれます。

未提供

ユーザから網の方向で、インバンド情報/パターンを提供する場合、本メッセージに含まれます。ユーザから網への方向で、5.1.1.3節及び5.1.2.3節の手順に従う場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

未提供

(注5) “伝達能力”情報要素は5.1.1節の伝達能力選択手順の場合に含まれます。含まれる場合は“経過識別子(#5:インタワーキングが発生し、その結果テレコミュニケーションサービスが変更された)”情報要素も含まれます。

(注6) “高位レイヤ整合性”情報要素は5.1.2節の高位レイヤ整合性選択手順の場合に含まれます。含まれる場合は、“経過識別子(#5:インタワーキングが発生しその結果、テレコミュニケーションサービスが変更された)”情報要素も含まれます。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合を含むことがあります。付加サービスにより“フィーチャインディケーション”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.3 応答 [CONNECT]

本メッセージは着信ユーザが呼を受け付けたことを通知するために着信ユーザから網に、また、網から発信ユーザに送られます (表3.4)。

表3.4 応答メッセージ内容

メッセージ種別 : 応答
 定義区間 : グローバル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	O (注1)	4-12	未提供
チャンネル識別子	4.5.13	両方向 (注2)	O (注3)	2-*	n→uは 未提供
経過識別子	4.5.23	両方向	O (注4)	2-4	
表示	4.5.16	n→u	O (注5)	(注6)	
日時	4.5.15	n→u	O (注7)	8	未提供
シグナル	4.5.28	n→u	O (注8)	2-3	
低位レイヤ整合性	4.5.19	両方向	O (注9)	2-18	
高位レイヤ整合性	4.5.17	両方向	O (注10)	2-4	未提供

未提供

- (注1) “伝達能力” 情報要素は、5.1.1節の伝達能力選択手順の場合に含まれます。
 (注2) 網からユーザの方向については、付録1.1の手順をサポートするために含まれます。

(注3) 「呼設定」メッセージに対する最初の応答で、「呼設定」メッセージで表示された情報チャンネルをユーザが受け付けない場合は、本情報要素は必須となります。

(注4) 相互接続又は、インチャンネル情報の提供の場合に含まれます。

(注5) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注6) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

未提供

(注7) 網オプションとして全ての呼もしくは特殊なテレコミュニケーションサービスを伴う呼の発信ユーザに日時情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注8) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注9) 応答するユーザが発信ユーザに対して“低位レイヤ整合性”情報要素を返送したい場合、ユーザから網の方向において、本メッセージに含まれます。呼に対して選択されたユーザが「応答」メッセージ内に“低位レイヤ整合性”情報要素を含めた場合、網からユーザの方向において含まれます。低位レイヤ整合性交渉に対してオプションとして含まれますが、発信ユーザに対して本情報要素を転送しない網もあり得ます (付録1.5参照)。

未提供

(注10) “高位レイヤ整合性”情報要素は5.1.2節の高位レイヤ整合性選択手順の場合に含まれます。

“表示”、“シグナル”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

付加サービスにより“フィーチャインディケーション”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.4 応答確認 [CONNECT ACKNOWLEDGE]

本メッセージは網から着信ユーザに呼が提供されたことを通知するために送信されます。また、プロトコル手順の対称性のため発信ユーザから網に送信されることがあります（表 3.5）。

表 3.5 応答確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 応答確認

定義区間 : ローカル

方 向 : 両方向

情報要素	参 照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	
シグナル	4.5.28	n→u	O (注3)	2-3	

(注1) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注3) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は必須です。未提供
その他の場合には含まれません。

(注5) 網からアウトチャネル情報が提供される場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

“表示”、“シグナル”情報要素は、スティミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

3.1.5 切断 [DISCONNECT]

本メッセージはエンド・エンド接続を切断復旧することを、網に要求するためにユーザから、または、エンド・エンド接続が切断復旧されたことを表示するために網からユーザに送出されます（表3.6）。

表3.6 切断メッセージ内容

メッセージ種別 : 切断
 定義区間 : グローバル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.1 2	両方向	M	4-3 2	
経過識別子	4.5.2 3	両方向 (注1)	O (注2)	2-4	u→nは 未提供
表示	4.5.1 6	n→u	O (注3)	(注4)	
シグナル	4.5.2 8	n→u	O (注5)	2-3	
固定シフト (コード群6)	4.5.3	両方向	O (注6)	1	u→nは 未提供
料金通知	4.6.1	n→u	O (注7)	4-*	網特有
汎用通知	4.6.3	n→u	O (注8)	4-3 9	網特有

(注1) 網からユーザの方向で網がインバンドトーンを提供する場合に、本メッセージに含まれます。

未提供

ユーザから網方向への使用は、付録11を参照して下さい。

(注2) インバンドトーンが提供される場合、網によって本メッセージに含まれます。ユーザは経過識別子を含みかつインバンドトーンを提供することがあります（付録8参照）。しかし、この場合、網はインバンドトーンを転送せず、この情報要素も無視します。

(注3) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注5) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注6) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は必須です。その他の場合は含まれません。

(注7) 通信料を通知する場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

(注8) 網からアウトチャネル情報が提供される場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

“表示”、“シグナル”、“汎用通知”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

付加サービスにより“ファシリティ”、“フィーチャインディケーション”、“ユーザ・ユーザ”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

(注9) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は必須です。その他の場合は含まれません。

(注10) 発信専用制御機能のBチャンネル単位制御モードを利用する場合に使用します。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

(注11) 網からアウトチャンネル情報が提供される場合に含まれます。本情報要素を含む場合は固定シフト手順を用います。

“表示”、“キーパッドファシリティ”、“シグナル”、“汎用通知”情報要素は、ステイミュラス手順により、付加サービスを行う場合に含むことがあります。

付加サービスにより“理由表示”、“フィーチャアクティベーション”、“フィーチャインディケーション”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.7 通知 [NOTIFY]

本メッセージは、ユーザまたは網から、呼中断のような呼に関する情報を表示するため転送されます(表3.8)。

表3.8 通知メッセージ内容

メッセージ種別 : 通知
定義区間 : アクセス
方 向 : 両方向

情報要素	参 照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
伝達能力	4.5.5	n→u	O(注1)	2-12	未提供
通知識別子	4.5.22	両方向	M	3	
表示	4.5.16	n→u	O(注2)	(注3)	

未提供

(注1) 網から伝達能力の変更を表示する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合を含むことがあります。

3.1.8 経過表示 [PROGRESS]

本メッセージは、相互接続又はインバンド情報／パターンを提供の場合に網又はユーザから呼の経過を表示するため転送されます（表 3.9）。

表 3.9 経過表示メッセージの内容

メッセージ種別 : 経過表示
 定義区間 : グローバル

方 向 : 網からユーザ、未提供
ユーザから網

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	O (注1)	4-12	未提供
理由表示	4.5.12	両方向	O (注2)	2-32	
経過識別子	4.5.23	両方向	M	4	
表示	4.5.16	n→u	O (注3)	(注4)	
高位レイヤ整合性	4.5.17	両方向	O (注5)	2-4	未提供

未提供

(注1) “伝達能力” 情報要素は、5.11節における伝達能力選択手順を提供する場合に含まれることがあります。“伝達能力” 情報要素は、その呼がベアラサービスを利用していることを示します。

(注2) 網がインバンド情報／パターンの提供に関する付加的な情報を提供する場合に本メッセージに含まれます。

(注3) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

未提供

(注5) “高位レイヤ整合性” 情報要素は、5.12節における高位レイヤ整合性選択手順を提供する場合に含まれることがあります。“高位レイヤ整合性” 情報要素は、その呼が、高位レイヤ整合性を利用していることを示します。

“表示” 情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合を含むことがあります。付加サービスにより“ユーザ・ユーザ” 情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照してください。

3.1.9 解放 [RELEASE]

本メッセージはユーザまたは網のいずれか一方から送信され、本メッセージを送信している装置が情報チャネル（もしあれば）を既に切断した事を示し、チャネルと呼番号を解放するために送信されます。さらに「解放」メッセージを受信した装置ではチャネルを解放し、さらに「解放完了」メッセージを送信したあと呼番号を解放します（表3.10）。

表3.10 解放メッセージ内容

メッセージ種別 : 解放
 定義区間 : ローカル (注1)
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.12	両方向	O (注2)	2-32	
表示	4.5.16	n→u	O (注3)	(注4)	
シグナル	4.5.28	n→u	O (注5)	2-3	
固定シフト (コード群6)	4.5.3	両方向	O (注6)	1	u→nは未提供
料金通知	4.6.1	n→u	O (注7)	4-*	網特有
汎用通知	4.6.3	n→u	O (注8)	4-39	網特有

(注1) 本メッセージは、ローカルな意味をもちますが、最初の切断復旧メッセージとして使用される場合は、グローバルな意味を持つ情報を転送することができます。

(注2) 切断復旧手順を起動する最初のメッセージの場合は、必須です。また、エラー処理条件の結果として「解放」メッセージが送信される場合も、本メッセージに含まれます。

(注3) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注5) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれることがあります。

(注6) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は必須です。その他の場合は含まれません。

(注7) 通信料を通知する場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

(注8) 網からのアウトチャネル情報が提供される場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

“表示”、“シグナル”、“汎用通知”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含まれることがあります。

付加サービスにより“ファシリティ”、“フィーチャインディケーション”、“ユーザ・ユーザ”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.1.0 解放完了 [RELEASE COMPLETE]

本メッセージは、ユーザ側もしくは網のどちらか一方からメッセージを送信した装置が、既に情報チャンネル（もしあれば）及び呼番号を解放したことを表示するために送信されます。

解放された情報チャンネルは、再び利用が可能となるとともに、本メッセージを受信した装置は呼番号を解放します（表3.11）。

表3.11 解放完了メッセージ内容

メッセージ種別 : 解放完了
 定義区間 : ローカル (注1)
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.1.2	両方向	O (注2)	2-3.2	
表示	4.5.1.6	n→u	O (注3)	(注4)	
シグナル	4.5.2.8	n→u	O (注5)	2-3	
固定シフト (コード群6)	4.5.3	両方向	O (注6)	1	u→nは未提供
料金通知	4.6.1	n→u	O (注7)	4-*	網特有
汎用通知	4.6.3	n→u	O (注8)	4-3.9	網特有

(注1) 本メッセージは、ローカルな意味をもちますが、最初の切断復旧メッセージとして使用される場合は、グローバルな意味を持つ情報を転送することができます。

(注2) 解放手順を起動する最初のメッセージの場合は必須です。また、エラー処理条件の結果として「解放完了」メッセージが送信される場合も本メッセージに含まれます。

(注3) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注5) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれることがあります。

(注6) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は、必須です。その他の場合は含まれません。

(注7) 通信料を通知する場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

(注8) 網からアウトチャンネル情報が提供される場合に含まれます。本情報要素を含む場合は、固定シフト手順を用います。

“表示”、“シグナル”、“汎用通知”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含まれることがあります。

付加サービスにより“ファシリティ”、“フィーチャインディケーション”、“ユーザ・ユーザ”情報要素を含むことがあります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.1.1 再開 [RESUME]

本メッセージはユーザから網に中断呼の再開を要求するために転送されます(表3.1.2)。

本メッセージはポイント・マルチポイント接続のときにのみ適用されます。

表3.1.2 再開メッセージ内容

メッセージ種別 : 再開

定義区間 : ローカル

方 向 : ユーザから網

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	u→n	M	1	
呼番号	4.3	u→n	M	2	
メッセージ種別	4.4	u→n	M	1	
呼識別	4.5.6	u→n	O (注1)	2-10	

(注1) 「中断」メッセージが“呼識別”情報要素を含んでいたときに含まれます。

3.1.12 再開確認 [RESUME ACKNOWLEDGE]

本メッセージは、中断された呼の再開要求の完了を示すために網からユーザに転送されます（表3.13）。
本メッセージはポイント・マルチポイント接続のみに適用されます。

表3.13 再開確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 再開確認
定義区間 : ローカル
方向 : 網からユーザ

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	n→u	M	1	
呼番号	4.3	n→u	M	2	
メッセージ種別	4.4	n→u	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	n→u	M	3-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合を含むことがあります。

3.1.13 再開拒否 [RESUME REJECT]

本メッセージは、中断された呼の再開要求が不成立であることを通知するために網からユーザに転送されます(表3.14)。

本メッセージはポイント・マルチポイント接続のみに適用されます。

表3.14 再開拒否メッセージ内容

メッセージ種別 : 再開拒否

定義区間 : ローカル

方向 : 網からユーザ

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	n→u	M	1	
呼番号	4.3	n→u	M	2	
メッセージ種別	4.4	n→u	M	1	
理由表示	4.5.12	n→u	M	4-32	
表示	4.5.16	n→u	O(注1)	(注2)	
固定シフト(コード群6)	4.5.3	両方向	O(注3)	1	u→nは未提供
料金通知	4.6.1	n→u	O(注4)	4-*	網特有

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注3) 本情報要素は、コード群6の情報要素が本メッセージに含まれる場合は、必須です。その他の場合は含まれません。

(注4) 通信料を通知する場合に含まれます。本情報要素を含む場合固定シフト手順を用います。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含まれます。

3.1.14 呼設定 [SETUP]

本メッセージは、発信ユーザから網へ、もしくは網から着信ユーザに呼設定を開始するために転送されます(表3.15)。

表 3.15 呼設定メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定
 定義区間 : グローバル
 方 向 : 両方向

情報要素	参 照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
送信完了	4.5.27	両方向	O(注1)	1	未提供
繰り返し識別子	4.5.24	両方向	O(注2)	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	M(注3)	4-12	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	O(注4)	2-*	
経過識別子	4.5.23	両方向	O(注5)	2-4	
網特有ファシリティ	4.5.21	両方向	O(注6)	2-*	未提供
表示	4.5.16	n→u	O(注7)	(注8)	
キーパッドファシリティ	4.5.18	u→n	O(注9)	2-34	
シグナル	4.5.28	u→n	O(注10)	2-3	
発番号	4.5.10	両方向	O(注11)	2-36	
発サブアドレス	4.5.11	両方向	O(注12)	2-23	
着番号	4.5.8	両方向	O(注13)	2-51	
着サブアドレス	4.5.9	両方向	O(注14)	2-23	
転送元番号	4.5.31	n→u	O(注15)	2-24	
中継網選択	4.5.29	u→n	O(注16)	2-*	未提供
繰り返し識別子	4.5.24	両方向	O(注17)	1	未提供
低位レイヤ整合性	4.5.19	両方向	O(注18)	2-18	
高位レイヤ整合性	4.5.17	両方向	O(注19)	2-5	

未提供

(注1) 呼設定に必要なすべての情報が「呼設定」メッセージに含まれていることをユーザもしくは網がオプションで表示する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 伝達能力交渉手順が使用される場合、“繰り返し識別子”情報要素は、最初の“伝達能力”情報要素の直前に含まれます。

未提供

(注3) もし伝達能力交渉手順が使用される場合情報要素が繰り返され得ます(付録2.3参照)。伝達能力交渉に対しては優先度の高いものからならべられた2つの“伝達能力”情報要素が含まれることがあります。すなわち最優先のものが最初になります。複数の“伝達能力”情報要素の提供が全ての網にて提供されなくても、それを提供する網では、加入時の取決めなどを通して2つの“伝達能力”情報要素は含まれることがあります。“繰り返し識別子”情報要素が、2つの“伝達能力”情報要素の前に設定されないときは、優先度の低いものから示されます。

“繰り返し識別子”情報要素については認識しますが、伝達能力交渉手順については提供しません。したがって、“伝達能力”情報要素を繰り返した場合、5.8.5.2節の手順に従います。

(注4) 本情報要素は網からユーザへの方向において必須です。ユーザから網への方向においては、ユーザがチャンネルを表示する事を要求する場合、本メッセージに含まれます。含まれない場合は、“任意チャンネルの受付可能”とみなして解釈されます。

(注5) 相互接続または、インチャンネル情報の提供の場合に本メッセージに含まれます。

未提供

(注6) 発信ユーザもしくは網によって網特有ファシリティ情報を表示する場合、本メッセージに含まれます。

(注7) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注8) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注9) ユーザから網へ着番号情報を転送するために、“着番号”情報要素、もしくは“キーパッドファシリティ”情報要素が本メッセージに含まれます。また、“キーパッドファシリティ”情報要素は、ユーザが網に対して他の呼設定情報を転送したい場合、本メッセージに含まれます。

(注10) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注11) 発信ユーザ識別のために、発信ユーザまたは網によって本メッセージに含まれることがあります。本情報要素は、付加サービスを利用する場合において、必須となる場合があります。

(注12) 発信ユーザが、発サブアドレスの表示を行いたい場合は、ユーザから網への方向で本メッセージに含まれます。

(注13) ユーザから網へ着番号情報を転送するために、“着番号”情報要素もしくは、“キーパッドファシリティ”情報要素が本メッセージに含まれます。

ユーザから網の方向に本情報要素と“キーパッドファシリティ”情報要素の両方が本メッセージに含まれた場合は本情報要素が着番号として使用されます。

網からユーザへの方向には、付加サービスによって使用可能です(例:ダイヤルインサービス)。

(注14) 発信ユーザが、着サブアドレスの表示を行いたい場合は、ユーザから網の方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが「呼設定」メッセージに“着サブアドレス”情報要素を含めているならば、網からユーザの方向で、本メッセージに含まれます。

(注15) 呼の着信転送または転送が起動された番号を着信ユーザへ表示する場合に、網からユーザの方向で本メッセージに含まれます。

未提供

(注16) 特定中継網を選択するために、発信ユーザによって本メッセージに含まれます(付録3参照)。

(注17) 低位レイヤ整合性交渉のため、2つまたはそれ以上の“低位レイヤ整合性”情報要素が含まれる場合に、本メッセージに含まれます。

(注18) 発信ユーザが、着信ユーザに対して低位レイヤ整合性情報を転送する場合、ユーザから網の方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが、「呼設定」メッセージに“低位レイヤ整合性”情報要素を含めているならば、網からユーザの方向で本メッセージに含まれます。低位レイヤ整合性交渉手順を利用する場合、優先順位の高いものから並べられた2つ、3つあるいは4つの情報要素が含まれることがあります。すなわち、最優先のものが最初になります(付録15参照)。

(注19) 発信ユーザが、着信ユーザに対して高位レイヤ整合性情報を転送する場合、ユーザから網の方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが、「呼設定」メッセージに“高位レイヤ整合性”情報要素を含むならば、網からユーザの方向で、本メッセージに含まれます。

未提供

複数の“高位レイヤ整合性”情報要素の提供が全ての網にて提供されなくとも、それを提供する網では、加入時の取決めなどを通して2つの“高位レイヤ整合性”情報要素が含まれることがあります(5.12節参照)。2つの“高位レイヤ整合性”情報要素は優先度の低いものから示されます。

“表示”、“キーパッドファシリティ”、“シグナル”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含まれることがあります。

付加サービスにより“ファシリティ”、“フィーチャアクティベーション”、“フィーチャインデイクエーション”、“ユーザ・ユーザ”情報要素が含まれる場合があります。付加サービス仕様を参照して下さい。

3.1.15 呼設定確認 [SETUP ACKNOWLEDGE]

本メッセージは網から発信ユーザ、あるいは着信ユーザから網に送信され、呼設定が開始され引き続きデータを要求していることを示します(表3.16)。

表3.16 呼設定確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定確認
 定義区間 : ローカル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	O(注1)	2-*	
経過識別子	4.5.23	両方向	O(注2)	2-4	
表示	4.5.16	n→u	O(注3)	(注4)	
シグナル	4.5.28	n→u	O(注5)	2-3	

(注1) ユーザが「呼設定」メッセージ内に示された特定Bチャンネルを受け入れる場合を除き、全ての場合で必須となります。

(注2) 相互接続又は、インチャンネル情報の提供の場合に含まれます。

(注3) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注5) トーンを示す付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

3.1.16 状態表示 [STATUS]

本メッセージは、「状態問合せ」メッセージに対する応答として、もしくは5.8節に示されるエラー状態を通知するために、1つの呼内の任意の時点でユーザもしくは、網のいずれからも送信されます(表3.17)。

表3.17 状態表示メッセージ内容

メッセージ種別 : 状態表示
定義区間 : ローカル
方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.12	両方向	M	4-32	
呼状態	4.5.7	両方向	M	3	
表示	4.5.16	n→u	O(注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

3.1.17 状態問合せ [STATUS ENQUIRY]

本メッセージは、ユーザ又は網より対向するレイヤ3から「状態表示」メッセージを要求するために任意の時点で送信されることがあります。本メッセージを受信した場合、その応答として「状態表示」メッセージの送出が必須です（表3.18）。

表3.18 状態問合せメッセージ内容

メッセージ種別 : 状態問合せ
定義区間 : ローカル
方 向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

3.1.18 中断 [SUSPEND]

本メッセージは、呼の中断を要求するためにユーザから網に転送されます(表3.19)。

本メッセージは、ポイント・マルチポイント接続のみに適用されます。

表3.19 中断メッセージ内容

メッセージ種別 : 中断

定義区間 : ローカル

方 向 : ユーザから網

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	u→n	M	1	
呼番号	4.3	u→n	M	2	
メッセージ種別	4.4	u→n	M	1	
呼識別	4.5.6	u→n	O(注1)	2-10	

(注1) ユーザが中断の呼を再開時に明確に識別する場合に含まれます。

3.1.19 中断確認 [SUSPEND ACKNOWLEDGE]

本メッセージは、要求された呼の中断が完了したことを通知するために網からユーザに転送されます（表 3.20）。

本メッセージは、ポイント・マルチポイント接続のみに適用されます。

表 3.20 中断確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 中断確認

定義区間 : ローカル

方 向 : 網からユーザ

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	n→u	M	1	
呼番号	4.3	n→u	M	2	
メッセージ種別	4.4	n→u	M	1	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、スティミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

3.1.20 中断拒否 [SUSPEND REJECT]

本メッセージは、呼の中断要求が不成立であることを通知するために、網からユーザに転送されます（表 3.21）。

本メッセージは、ポイント・マルチポイント接続のみに適用されます。

表 3.21 中断拒否メッセージ内容

メッセージ種別 : 中断拒否
定義区間 : ローカル
方 向 : 網からユーザ

情報要素	参 照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	n→u	M	1	
呼番号	4.3	n→u	M	2	
メッセージ種別	4.4	n→u	M	1	
理由表示	4.5.12	n→u	M	4-32	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

“表示”情報要素は、ステイミュラス手順により付加サービスを行う場合に含むことがあります。

3.2 ユーザ信号ベアラサービス制御用メッセージ

回線交換呼と対応しない一時的信号接続制御及びユーザ・ユーザ情報を転送するためのメッセージを示します(表3.22)。

表3.22 一時的信号接続制御用メッセージ

<u>呼設定用メッセージ</u>	<u>参 照</u>
呼出 [ALERTING]	3.2.1
呼設定受付 [CALL PROCEEDING]	3.2.2
応答 [CONNECT]	3.2.4
応答確認 [CONNECT ACKNOWLEDGE]	3.2.5
呼設定 [SETUP]	3.2.9
呼設定確認 [SETUP ACKNOWLEDGE]	3.2.10
(注) 本メッセージはTTC非標準のため提供しません。	
<u>通信中メッセージ</u>	
ユーザ情報 [USER INFORMATION]	3.2.13
<u>呼切断復旧用メッセージ</u>	
解放 [RELEASE]	3.2.7
解放完了 [RELEASE COMPLETE]	3.2.8
<u>その他のメッセージ</u>	
輻輳制御 [CONGESTION CONTROL]	3.2.3
付加情報 [INFORMATION]	3.2.6
状態表示 [STATUS]	3.2.11
状態問合せ [STATUS ENQUIRY]	3.2.12

(注) TTC標準JT-Q931(第5版)では、ユーザ間双方の合意に基づく付加的な整合性確認のため、またはTTC標準、及びITU-T勧告(例えば、ITU-T勧告X.213)に基づく提供のため、ユーザ・ユーザ信号の提供の記述していました。この機能の利用においては、ユーザ・ユーザ情報要素が、「呼出」「応答」、「解放」、「解放完了」、「呼設定」メッセージに含まれます。この機能(明白な、及び暗黙のタイプ1ユーザ・ユーザ信号)の詳細は、付加サービス仕様を参照して下さい。

3.2.1 呼出 [ALERTING]

本メッセージは、着信ユーザの呼出が開始されたことを表示するために、着信ユーザから網に転送されます。そして、網から発信ユーザに着信ユーザが呼出を開始したことを通知するために転送されます（表3.23）。

表3.23 呼出メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼出
 定義区間 : グローバル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	u→n	O (注1)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注2)	(注3)	

(注1) 本メッセージが「呼設定」メッセージの最初の応答で、「呼設定」メッセージで表示された情報チャンネルをユーザが受け取れない場合は、この情報要素は必須となります。

(注2) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.2 呼設定受付 [CALL PROCEEDING]

本メッセージは、要求された呼設定が開始されたことを表示するため着信ユーザから網に、または網から発信ユーザに転送され、これ以上の呼設定情報は受け付けられないことを示すものです（表3.24）。

表3.24 呼設定受付メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定受付
 定義区間 : ローカル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	O (注1)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注2)	(注3)	

(注1) 網からユーザへ「呼設定」メッセージに対する最初の応答の場合、本情報要素は必須となります。ユーザから網へ「呼設定」メッセージに対する最初の応答で、「呼設定」メッセージで表示された情報チャンネルをユーザが受け付けない場合、この情報要素は必須となります。

(注2) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.3 輻輳制御 [CONGESTION CONTROL]

本メッセージは、網もしくはユーザによって転送され、「ユーザ情報」メッセージの転送におけるフロー制御の確立及び終結を通知するのに用いられます（表3.25）。

表3.25 輻輳制御メッセージ内容

メッセージ種別 : 輻輳制御
 定義区間 : ローカル（注1）
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
輻輳制御レベル	4.5.14	両方向	M	1	
理由表示	4.5.12	両方向	M	4-32	
表示	4.5.16	n→u	O（注2）	（注3）	

（注1） 本メッセージはローカルな意味を持ちますが、グローバルな意味を持つ情報を転送することがあります。

（注2） 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

（注3） 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.4 応答 [CONNECT]

本メッセージは、着信ユーザが呼を受付けたことを通知するために着信ユーザから網に、または、網から発信ユーザに送られます（表 3.26）。

表 3.26 応答メッセージ内容

メッセージ種別 : 応答
 定義区間 : グローバル
 方 向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	u→n	O (注1)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注2)	(注3)	

(注1) 「呼設定」メッセージに対する最初の応答で、「呼設定」メッセージで指示された情報チャンネルをユーザが受付けない場合は本情報要素は必須となります。

(注2) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.5 応答確認 [CONNECT ACKNOWLEDGE]

本メッセージは網から着信ユーザに、呼が提供されたことを通知するために、送信されます。またプロトコル手順の対称性のため発信ユーザから網に送信されることがあります（表3.27）。

表3.27 応答確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 応答確認
 定義区間 : ローカル
 方 向 : 両方向

情報要素	参 照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.6 付加情報 [INFORMATION]

本メッセージは、ユーザまたは網から付加情報を送信したい場合に転送されます。呼設定のための付加情報、あるいは種々の呼関連情報を送信するために使用されることがあります(表3.28)。

表3.28 付加情報メッセージ内容

メッセージ種別 : 付加情報
 定義区間 : ローカル(注1)
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
送信完了	4.5.27	両方向	O(注2)	1	
理由表示	4.5.12	n→u	O(注3)	2-32	
表示	4.5.16	n→u	O(注4)	(注5)	
キーパッドファシリティ	4.5.18	u→n	O(注6)	2-34	
着番号	4.5.8	両方向	O(注7)	2-*	

(注1) 本メッセージはローカルな意味を持ちますが、グローバルな意味を持つ情報を転送することがあります。

(注2) ユーザが網に対して分割発呼の完了をオプションで表示する場合、または、網がユーザに対して分割着呼の完了をオプションで表示する場合に、本メッセージに含まれます。

(注3) 網がオプションでユーザ・ユーザ信号に適する付加情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注5) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

(注6) 分割発呼手順で着番号情報を網へ転送するために、“着番号”情報要素もしくは“キーパッドファシリティ”情報要素がユーザによって本メッセージに含まれます。

(注7) 分割発呼手順で着番号情報を網へ転送するために、“キーパッドファシリティ”情報要素もしくは、“着番号”情報要素が、ユーザによって本メッセージに含まれます。

分割着呼手順でユーザに着番号情報を転送するために、“着番号”情報要素は、網によって本メッセージに含まれます。

3.2.7 解放 [RELEASE]

本メッセージはユーザまたは網のいずれか一方から送信され、本メッセージを送信している装置が情報チャンネル（もしあれば）を既に切断したことを示し、チャンネルと呼番号を解放するために送信されます。さらに、本メッセージを受信した装置ではチャンネルを解放し、さらに「解放完了」メッセージを送信したあと呼番号を解放します（表 3.29）。

表 3.29 解放メッセージ内容

メッセージ種別 : 解放
 定義区間 : ローカル（注1）
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2 - *	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.1 2	両方向	O（注2）	2 - 3 2	
表示	4.5.1 6	n → u	O（注3）	（注4）	

（注1） 本メッセージはローカルな意味を持ちますが、最初の呼切断復旧メッセージとして使用される場合は、グローバルな意味をもつ情報を転送することができます。

（注2） 本メッセージが切断復旧手順を起動する最初のメッセージの場合は、必須です。また、エラー処理条件の結果として「解放」メッセージが送信される場合も本メッセージに含まれます。

（注3） 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

（注4） 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.8 解放完了 [RELEASE COMPLETE]

本メッセージはユーザ側または網のいずれか一方からメッセージを送信した装置が、既に情報チャネル（もしあれば）及び呼番号を解放したことを表示するために送信されます。解放されたチャネルは再び利用が可能となり、本メッセージを受信した装置は呼番号を解放します（表3.30）。

表3.30 解放完了メッセージ内容

メッセージ種別 : 解放完了
 定義区間 : ローカル（注1）
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.12	両方向	O（注2）	2-32	
表示	4.5.16	n→u	O（注3）	（注4）	

（注1） 本メッセージはローカルな意味を持ちますが、最初の呼切断復旧メッセージとして使用される場合は、グローバルな意味をもつ情報を転送することができます。

（注2） 本メッセージが最初の切断復旧手順を起動する最初のメッセージである場合は必須です。また、エラー処理条件の結果として「解放完了」メッセージが送信される場合も本メッセージに含まれます。

（注3） 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

（注4） 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は網に依存し、34または82オクテットです。

3.2.9 呼設定 [SETUP]

本メッセージは呼設定を開始するために、発信ユーザから網へ、そして網から着信ユーザへ送信されます（表3.31）。

表3.31 呼設定メッセージ内容

メッセージ種別 : 呼設定
 定義区間 : グローバル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
送信完了	4.5.27	両方向	O (注1)	1	
伝達能力	4.5.5	両方向	M (注2)	6-8	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	M	2-*	
網特有ファシリティ	4.5.21	両方向	O (注3)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注4)	(注5)	
キーパッドファシリティ	4.5.18	u→n	O (注6)	2-34	
発番号	4.5.10	両方向	O (注7)	2-*	
発サブアドレス	4.5.11	両方向	O (注8)	2-23	
着番号	4.5.8	両方向	O (注9)	2-*	
着サブアドレス	4.5.9	両方向	O (注10)	2-23	
中継網選択	4.5.29	u→n	O (注11)	2-*	
低位レイヤ整合性	4.5.19	両方向	O (注12)	2-18	
高位レイヤ整合性	4.5.17	両方向	O (注13)	2-4	

(注1) 呼設定に必要な全ての情報が「呼設定」メッセージに含まれていることをユーザまたは網がオプションで表示する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) “伝達能力”情報要素および“低位レイヤ整合性”情報要素は、もし適当であれば、ITU-Tテレコミュニケーション・サービスを記述するのに使用されることがあります。

- (注3) 発信ユーザまたは網によって網特有ファシリティ情報を表示する場合、本メッセージに含まれます。
- (注4) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。
- (注5) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。
- (注6) 分割発呼手順で着番号情報を網へ転送するために、“着番号”情報要素もしくは“キーボードファシリティ”情報要素が、ユーザによって本メッセージに含まれます。
網に他の呼設定情報を転送するために、“キーボードファシリティ”情報要素もまた、ユーザによって本メッセージに含まれることがあります。
- (注7) 発信ユーザ識別のために、発信ユーザまたは網によって本メッセージに含まれることがあります。
- (注8) 発信ユーザが発サブアドレスの表示を行いたい場合、ユーザから網への方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが「呼設定」メッセージに“発サブアドレス”情報要素を含めているならば、網からユーザへの方向で本メッセージに含まれます。
- (注9) 着番号情報を網へ転送するために、“キーボードファシリティ”情報要素もしくは“着番号”情報要素が、ユーザによって本メッセージに含まれます。
ユーザに着番号情報を転送するために、“着番号”情報要素は、網によって本メッセージに含まれます。
- (注10) 発信ユーザが着サブアドレスの表示を行いたい場合、ユーザから網への方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが「呼設定」メッセージに“着サブアドレス”情報要素を含めているならば、網からユーザへの方向で本メッセージに含まれます。
- (注11) 特定中継網を選択するために、発信ユーザによって本メッセージに含まれます（付録3参照）。
- (注12) 発信ユーザが着信ユーザに対して低位レイヤ整合性情報を転送する場合、ユーザから網への方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが「呼設定」メッセージに“低位レイヤ整合性”情報要素を含めているならば、網からユーザへの方向で本メッセージに含まれます。
- (注13) 発信ユーザが着信ユーザに対して高位レイヤ整合性情報を転送する場合、ユーザから網への方向で本メッセージに含まれます。発信ユーザが「呼設定」メッセージに“高位レイヤ整合性”情報要素を含めているならば、網からユーザへの方向で本メッセージに含まれます。

3.2.10 呼設定確認 [SETUP ACKNOWLEDGE]

本メッセージは、TTC非標準のため提供しません。

3.2.1.1 状態表示 [STATUS]

本メッセージは、「状態問合せ」メッセージに対する応答として、もしくは5.8節に示されるエラー状態を通知するために、1つの呼内の任意の時点でユーザ、もしくは網のいずれからも送信されます(表3.3.2)。

表3.3.2 状態表示メッセージ内容

メッセージ種別 : 状態表示
 定義区間 : ローカル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.1.2	両方向	M	4-3.2	
呼状態	4.5.7	両方向	M	3	
表示	4.5.1.6	n→u	O(注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.12 状態問合せ [STATUS ENQUIRY]

本メッセージは、ユーザまたは網より対向するレイヤ3から「状態表示」メッセージを要求するために任意の時点で送信されることがあります。本メッセージを受信した場合、その応答としての「状態表示」メッセージの送出手続きが必須です（表3.33）。

表3.33 状態問合せメッセージ内容

メッセージ種別 : 状態表示
 定義区間 : ローカル
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
表示	4.5.16	n→u	O (注1)	(注2)	

(注1) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注2) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.2.13 ユーザ情報 [USER INFORMATION]

本メッセージは、ユーザがリモートユーザに情報を転送するためにユーザから網に送信されます。また、本メッセージは、網からユーザに相手ユーザからの情報を届けるために送信されます（表3.34）。

表3.34 ユーザ情報メッセージ内容

メッセージ種別 : ユーザ情報
 定義区間 : アクセス
 方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M	2-*	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
モアデータ	4.5.20	両方向	O (注1)	1	
ユーザ・ユーザ	4.5.30	両方向	M	2-255	

(注1) 同じメッセージ・ブロックに属する他の「ユーザ情報」メッセージが続いて来ることを表示する場合に、送信側ユーザによって本メッセージに含めます。

3.3 グローバル呼番号を用いたメッセージ

表 3.3 5、4.3 節で定義されたグローバル呼番号を用いるメッセージを示します。

表 3.3 5 グローバル呼番号用メッセージ

<u>メッセージ</u>	<u>参 照</u>
初期設定 [RESTART]	3.3.1
初期設定確認 [RESTART ACKNOWLEDGE]	3.3.2
状態表示 [STATUS]	3.3.3

3.3.1 初期設定 [RESTART]

本メッセージは、ユーザもしくは網から表示されたチャンネルまたはインタフェースの初期設定（すなわち、“空”状態に戻す）を要求するために転送されます（表3.36）。

本メッセージは、基本アクセスでかつポイント・マルチポイントに対する網からの起動は、未提供です。

表 3.36 初期設定メッセージ内容

メッセージ種別 : 初期設定
定義区間 : ローカル
方 向 : 両方向

情報要素	参照	方 向	種 別	情報長	備 考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M (注1)	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	O (注2)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注3)	(注4)	
初期設定表示	4.5.25	両方向	M	3	

(注1) 本メッセージは、4.3節で定義されるグローバル呼番号と共に送られます。

(注2) 初期設定対象の特定のチャンネルを表示する必要がある場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 網がユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は、34オクテットです。

3.3.2 初期設定確認 [RESTART ACKNOWLEDGE]

本メッセージは、「初期設定」メッセージの受信を確認し、要求された初期設定が完了したことを表示するために転送されます（表3.37）。

本メッセージは、基本アクセスでかつポイント・マルチポイントに対する網からの起動は、未提供です。

表3.37 初期設定確認メッセージ内容

メッセージ種別 : 初期設定確認
定義区間 : ローカル
方 向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M (注1)	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
チャンネル識別子	4.5.13	両方向	O (注2)	2-*	
表示	4.5.16	n→u	O (注3)	(注4)	
初期設定表示	4.5.25	両方向	M	3	

(注1) 本メッセージは、4.3節で定義されるグローバル呼番号と共に送られます。

(注2) 初期設定されている特定のチャンネルの表示を必要とする場合に、含まれます。

(注3) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注4) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。

3.3.3 状態表示 [STATUS]

本メッセージは、5.8節に示されるエラー状態を通知するために、1つの呼内の任意の時点でユーザもしくは網のいずれから転送されます(表3.38)。

表3.38 状態表示メッセージ内容

メッセージ種別 : 状態表示

定義区間 : ローカル

方向 : 両方向

情報要素	参照	方向	種別	情報長	備考
プロトコル識別子	4.2	両方向	M	1	
呼番号	4.3	両方向	M (注1)	2-3	
メッセージ種別	4.4	両方向	M	1	
理由表示	4.5.1 2	両方向	M	4-3 2	
呼状態	4.5.7	両方向	M	3	
表示	4.5.1 6	n→u	O (注2)	(注3)	

(注1) 本メッセージは、4.3節で定義されるグローバル呼番号と共に送られます。

(注2) 網が、ユーザに表示される情報を提供する場合、本メッセージに含まれます。

(注3) 最小の長さは2オクテットです。また、最大長は34オクテットです。